

西尾商工会議所

「管理者が間違っただけのマネジメントをしていては、組織力はいつまでも高まらない！
管理者が真のマネジメントができる力を身につける！」

マネージャー・管理者研修」1日目

目的： マネージャー・管理者として間違いのないマネジメントを実践するために必要になる考え方と能力を身につける。
※間違っただけの考え方でマネジメントを行うと、一生懸命マネジメントをやっているつもりだけで、なかなか長期的な成果につながらない。

株式会社ナレッジ・プラクティス・コンサルティング
宇井 克己
経営コンサルタント 中小企業診断士

	内 容	詳 細	
14:00	●オリエンテーション	・本研修の目的と進め方を確認する ・本研修における自分の目標を設定する(この研修を通して何を得られたら嬉しいか?)	
	●良い管理者とは・・・	・「会社にとって良い管理者とはどのような管理者か」、「部下にとって良い管理者とはどのような管理者か」をグループで話し合う。 ※アイスブレイクを兼ねる。	グループ討議
	●マネジメントとは何をすることか?	・まず個人ワークで、「マネジメントとは何をすることか」について考える。 ・マネジメントの要諦は、PDCAのマネジメントサイクルを回すこと。 ・各プロセス(Plan,Do,Check,Action)において具体的にすべきことを理解する。 Plan: 目標設定とその目標を実現するための行動計画の策定 Do: 計画に則って実行 Check: Doの結果を正確に把握し、なぜ、その結果になったかの要因を分析する。 Action: Checkで分析した要因に基づき、今後どのようにするかを決める。	個人ワーク グループ討議
	●正しいマネジメントと誤ったマネジメント	・情報を集めずに、目標設定・計画策定を行ってしまう。 ・目標数値だけを設定して、具体的な行動計画を策定しない。 ・結果を出すことがマネジメントの目的と思っている(結果を出すのも大切だが、マネジメント本来の目的は、継続的に求められる成果を出し続けられる組織力を強化すること) ・日常の業務に対する短期的なマネジメントと仕組みを構築する長期的なマネジメントの区別をせずにマネジメントをしてしまう。 ・人の頑張りによる成果をよしとして、仕組みを作って成果を出すという意識がない。 ・成果の把握があいまいで、客観的な分析ができない。 ・多面的に対応策を考えず、単眼的思考での対策立案になっている。	講義
	●マネジメントに必須のツール=見える化(ハード)	・見える化とは、「目標に対して、今、出すべき成果が出せているのか、出せていないのかが一目で誰が見ても分かるようにすること」、「行動計画に対して、今、取るべき行動が取れているのか、取れていないのかが一目で誰が見ても割るようになること」。 ・目標及び行動における結果の認識がチームのメンバー内で違っている場合は、マネジメントはできない。マネジメントにおいて「見える化」は必須のツールと認識する。 ※個人ワーク: 現在取り組んでいるチームの目標について、見える化をするとしたら、どのようにしたらいいか?	講義 個人ワーク
	●マネジメントに必要なコミュニケーションカ(ソフト)	・部下からの発言を具体化する質問(チャックダウン)のスキル 「具体的に言うと、それはどういうこと?」「具体的に言うと、それはいつのこと?」等々 ・部下からの発言を否定せずに、受け止めて聞く傾聴のスキル 部下に「はい、そういうことです」と言わせる。反復・要約のスキル ・部下からの発言内容を構造化する図式化のスキル 原因と結果、目的と手段、具体的内容を矢印でつなぐ。 ※ロールプレイング: 上司役・部下役に分かれてロールプレイングを行う。テーマは、「昨日の仕事を振り返って・・・」	講義 ロールプレイング
	●まとめ	まとめを行う。	個人ワーク
17:00	●講師講評		

西尾商工会議所

「管理者が間違っただけのマネジメントをしていては、組織力はいつまでも高まらない！
管理者が真のマネジメントができる力を身につける！」

マネージャー・管理者研修」2日目

目的： マネージャー・管理者として間違いのないマネジメントを実践するために必要になる考え方と能力を身につける。
※間違っただけの考え方でマネジメントを行うと、一生懸命マネジメントをやっているつもりだけで、なかなか長期的な成果につながらない。

株式会社ナレッジ・プラクティス・コンサルティング
宇井 克己
経営コンサルタント 中小企業診断士

	内 容	詳 細	
14:00	●前回の復習	・1日目の研修で何を行ったか？	
	●実践事項の共有	・1回目の研修以降、どのようなことを実践したか？ グループ内で共有する。	グループワーク
	●部下との信頼関係を構築する	・管理者として必要な考え方を身につける。 「心は言葉によって作られる」「物事に色はついていない」「失敗から学ぶ」「他責ではなく自責の念を持つ」等 ・自部署の存在価値(使命)を言葉で表し、部下に語る。 「私たちの部署は、()をしているのではない。()をしているのだ」の()に入れる言葉を考える。	講義 個人ワーク
	●問題解決力を高める	・このような問題に直面したら、あなたならどうする？ ・問題解決のプロセスを理解する(問題解決プロセス:現状把握→原因分析→目標設定→対策立案→計画策定→計画実施→結果検証) ・問題解決に必要な多面的思考を身につける。	個人ワーク 講義
	●管理者としてのリーダーシップを高めるための発信力を身につける	・分かりやすいメッセージを発信するためのポイントを理解する。 「結論から言う」「目的と手段、原因と結果の関係性を明示する」、「予告して話す」	講義 個人ワーク
	●まとめ	まとめを行う。	個人ワーク
17:00	●講師講評		